

PATENT

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of: Mitsuru KITAMURA

Serial No.: 10/586,705

Group No.: 2872

Filed: July 20, 2006

Examiner: A. Amari

For: COMPUTER HOLOGRAM AND CREATION METHOD THEREOF

Attorney Docket No. U 016399-7

Commissioner for Patents
P. O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

SUBMISSION OF JAPANESE OFFICE ACTION

Applicant hereby submits a copy of an Office Action mailed on February 17, 2009 from the Japanese Patent Office in connection with counterpart JP Application No. 2004-025009. The Office Action (Reason for Rejection) cites two references: JP2000-214750 (Dai Nippon) and JP2002-72838 (NTT). Both of these references are on record in the above-identified U.S. application. Also, Applicant notes that both of these references were

CERTIFICATE OF MAILING/TRANSMISSION (37 CFR 1.8a)

I hereby certify that this correspondence is, on the date shown below, being:

MAILING

- ☐ deposited with the United States Postal Service with sufficient postage as first class mail in an envelope addressed to the Commissioner for Patents, P. O. Box 1450, Alexandria, VA 22313-1450

FACSIMILE

- ☐ transmitted by facsimile to the Patent and Trademark Office to **(571) 273-8300**

EFS-WEB

- ☒ transmitted electronically

Date: March 5, 2009

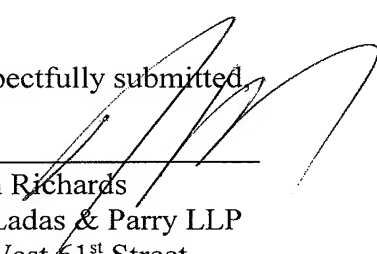
Signature


John Richards

(type or print name of person certifying)

originally cited in the International Search Report prepared by the Japanese Patent Office during the international stage of the above-identified application, category Y being designated on the International Search Report pertaining to each reference (category Y stating “document of particular relevance; the claimed invention cannot be said to involve an inventive step when combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art”).

Respectfully submitted,



John Richards
c/o Ladas & Parry LLP
26 West 61st Street
New York, New York 10023
Reg. No. 31053
Tel. No. (212) 708-1915

拒絶理由通知書

(Reason for Rejection)

特許出願の番号	特願2004-025009
起案日	平成21年 2月 6日
特許庁審査官	堀井 康司 3713 2000
特許出願人代理人	志村 浩 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してください。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項1-10
- ・引用文献1、2
- ・備考

引用文献1には、「計算機ホログラムの作成方法」において、「計算機を用いた演算により所定の記録面上に干渉縞を形成してなる計算機ホログラムを作成する方法であって、所定の原画像と、この原画像を記録するための記録面と、この記録面に対して照射する参照光とを定義する段階と、前記記録面上に多数の演算点を定義し、個々の演算点について、前記原画像上に定義された光源から発せられた物体光と、前記参照光とによって形成される干渉波の強度を演算する段階と、一定の形状および大きさをもった単位領域を第1の画素値をもった第1の領域と第2の画素値をもった第2の領域とに分割することにより定義される二値パターンを、前記単位領域に対する前記第1の領域の占有率を変えることにより複数通り定義する段階と、前記各演算点の位置に、それぞれ各演算点についての干渉波強度に対応した前記占有率を有する二値パターンを割り付ける段階と、前記記録面上に割り付けられた二値パターンの集合からなる二値画像に基づいて、媒体

上に物理的な干渉縞を作成する段階と、を有すること」等が記載されている（特許請求の範囲等参照）。そして、引用文献2には、不要再生光の発生を防止するために、ホログラムの標本化のピッチを再生光の波長以下とすることが開示されている（特許請求の範囲、[0005]等参照）。そうすると、引用文献1記載のホログラムを再生に際に、不要再生光の発生を防止するために標本化のピッチを再生光の波長以下とし、本願の請求項に係る発明とすることは当業者が容易に想到し得ることである。

引用文献等一覧

1. 特開2000-214750号公報
2. 特開2002-72838号公報

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C G 0 3 H 1 / 0 0 ~ 5 / 0 0

この先行技術文献調査結果の記録は拒絶理由を構成するものではありません。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第一部 応用光学 堀井康司

TEL. 03 (3581) 1101 内線3271

FAX. 03 (3501) 0478